
タキロンシーアイ、採光建材拠点集約し物流費削減

Edited By LogisticsToday On 2019/09/02

タキロンシーアイ（大阪市北区）の揖保川事業所にこのほど、新棟が完成した。揖保川事業所、ダイプラ松戸製造所、日本ポリエステル三田工場——とグループに3つあった生産拠点を揖保川事業所の既存棟に集約したもので、採光建材の生産効率アップを図った。

これにより、揖保川事業所のポリカーボネート生産量は国内トップへと躍進、同社は「自動化、機械化により、検査を含め極めて効率的な供給体制が整備できた」としている。

今回の新棟建設により、これまで分散していた後加工拠点を製造拠点に隣接させることで、最終製品までの一貫生産を実現。集約効果を生かし、物流費の削減とリードタイムの短縮、開発や技術革新のスピードアップを図る。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/350383>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.